

文学は、裏話で

おもしろくなる。

文学をもっと
たのしむ方法、
宮崎先生、
教えてください。



イギリスの作家、オスカー・ワイルドに
「幸福の王子」という作品があります。

街のシンボルであり、実は心を宿す王子像。
彼は旅の途中で立ち寄ったつばめに頼み、

自らの身体を覆う金箔や宝石を貧しい人々へ分け与えます。
街の人々はそのみすばらしくなった王子像を壊してしまう。

皮肉とユーモアに満ちた、自己犠牲の物語として知られる
作品です。ワイルドは時代のファッショリーダーのような

人物であり、実は同性愛者でもありました。
当時のイギリスでは同性愛は重い犯罪です。たとえば、

王子とつばめがキスを交わすシーンは、同性愛者としての
ワイルドの感情を表現しているのではないかと、

と解釈することが出来ます。このように時代や人物の背景、
いわば裏話を知り、そこに自分なりの解釈を試みると、

その作品の味わいはより濃くなり、
興味の範囲も広がるはずですよ。

ただストーリーを追うだけではない読み方、
ぜひチャレンジしてみてください。

総合文化学科
教授 宮崎かすみ



和光3分大学

9月・10月のオープンキャンパス

さっくり見学
13:00~16:00

9/22(土)・10/20(土)

10月AO入試

出願期限

~10/2(火)必着

試験日

10/7(日)

推薦制(公募制)入試

出願期間

10/25(木)~11/8(木)必着

試験日

11/17(土)
または18(日)

現代人間学部

小田急線鶴川駅から

表現学部

徒歩約15分

経済経営学部

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学